

中国大地保険は業務全体のコアシステムをマイクロサービスに

分散型クラウドネイティブのマイクロサービスをベースとしたコアプラットフォームの適応を実現した世界初の損害保険会社

ビジネスドライバー：

コアシステムのリプレースによるデジタルトランスフォーメーションの実現

導入時期：

2017～2019年

導入期間：

26カ月

ソリューション：

eBaoCloud® DigitalCore™、
eBaoCloud® InsureMO®

対象商品：

300以上のすべての個人保険と企業向け損害保険の商品が対象

対象販売チャネル：

従来の営業チャネルとオンラインチャネルを完全サポート、400以上のチャネルがすでに本番稼働中（すべてAPIにてコール）

対象国：

中国

インフラ：

プライベートクラウド

背景情報とビジネスニーズ：

中国大地保険は、2018年に保険料売上が62億米ドルに達し、中国第5位に躍進した損害保険会社です。同社の保険取扱商品には、自動車保険、貨物保険、傷害保険、医療保険、運送保険、個人／法人対物保険、機械保険、農業保険、損害賠償保険などの個人用および商用損害保険や、関連する再保険商品があります。

ビジネスドライバーと課題：

中国大地保険は、今後のデジタル時代に備えて、「テックドリブン」による成長戦略という大きな目標を掲げています。この新しい「テックドリブン」による成長戦略の基礎になるのが、15年間の急成長を支えてきたJavaベースのエンタープライズコアシステムを廃止し、クラウドネイティブなマイクロサービスベースのデジタルプラットフォームを導入する取り組みです。この取り組みで、同社の事業を顧客中心でエコシステム指向の完全オンライン事業に変換が可能となりました。

プロジェクトの概要：

2016年7月にJavaによって作られている既存のコアシステムの完全な入れ替えを決断し、同社はベンダーを詳細に比較検討し、2016年末にeBaoTechを選択しました。導入がスタートしたのは2017年5月です。2018年12月に最初対象となるの2店舗を試験的にオープンし、2019年5月に次の店舗グループを出店しました。国内全土への最終展開が完了したのは2019年7月でした。8カ月に及ぶ本番の結果、新しいプラットフォームは滞りなく稼働が認められ、主要な機能がビジネスの差別化に貢献することが実証されました。中国大地保険とeBaoTechは驚異的なマイルストーンを共同で達成し、同社は事業全体をクラウドネイティブなマイクロサービスベースのコアプラットフォームで運営する世界初の手続き損害保険会社となりました。

eBaoTechが同社のプロジェクトパートナーに選ばれたのは、eBaoCloud InsureMOの保険業務における成熟度と必要十分な機能が主な理由でした。グローバルな保険業界ミドルウェアと認知されているInsureMO（保険ミドルオフィス）は、保険機能のあらゆる基本要素をマイクロサービスとして搭載しています。すべてのアプリケーション機能やビジネスプラットフォームは、InsureMOに対するAPIコールとして開発されています。中国大地保険のこのOpen APIプラットフォームは、エンドユーザが使用するすべてのインターフェイスおよびワークフローからなる巨大なエコシステムの接続を支えるパワフルなものであり、それはeBaoCloud InsureMOが提供するAPIを呼び出して開発されています。これはまったく新しいコア保険システムの開発アプローチです。このアプローチにより、保険の技術革新が加速し、更に低コスト化が進み、よりきめ細かいカスタマイズが可能になります。開発に対して一からの再投資する必要がなくなりました。

“新しいプラットフォームにより、中国大地保険は膨大な数のチャンネルに柔軟にアクセスし、より充実したパーソナルな商品やサービスを顧客に提供できるようになりました。その結果、財務全般が強化され、全社のビジネスが加速する事に成功しました。具体的には、新商品のタイムリーな投入、チャンネルの柔軟な統合、顧客セグメントに合わせた価格の差別化、保険リスクの具体的な把握と管理、自動再保険と譲渡などの機能もサポートするシステムの実現です。さらに、並列性の高い膨大なデータトランザクションにも対応し、運用の利便性向上を図ることができました。”

Chen Yong氏
中国大地保険、
ゼネラルマネージャー



ユーザーインターフェイス

- モバイル対応：標準提供
- ブラウザ：標準提供
- API接続：簡単な開発で接続

イージースタートアップ

- 登録
- 製品選択
- 接続

図1：InsureMOがデジタルチャンネル接続を実現する中国大地保険の Open APIプラットフォーム

結果と成果：

主な成果は以下のとおりです。

- 2017年5月のスタートから26ヵ月後には新しいプラットフォームへのマグレーションが完了し、**15あったレガシーシステムが**廃止された。
- **7,000万件の保険契約**の移行が完了
- **300以上の保険商品**がサポートを実現：自動車保険、医療・傷害保険、対物保険、損害賠償保険、海上保険、機械保険など、すべての損害保険商品を含むほど全ての商品をカバー
- 一日あたり、**4億人民元／6,000万米ドル**相当となるピーク時の**40万件以上の保険処理**を実現
- **14万人**のユーザー（うち7万人はパートナーのユーザー）が新プラットフォームを利用
- 新**商品の投入**期間を**2日間**に短縮
- 新規チャンネルの立ち上げを**1～3日間**に短縮
- InsureMOにより、**100以上の新規チャンネル**をAPIコールで接続を実現
- 加入者**10万人以上の団体保険**を**2分**でアップロード完了
- **7,000万件ある保険の全文検索**を**1秒未満**で完了

“中国大地保険でこのクラウドネイティブなマイクロサービスベースのコアシステムを本番環境で確実に立ち上げることができたという事実から2つの重要な点がわかります。1つは、クラウドネイティブなマイクロサービスアーキテクチャが、取扱商品の提案から始まるライフサイクル全体をサポートできるレベルまで成熟しているということ。次は、eBaoCloud InsureMOを保険ミドルウェアとして使用することで、世界にある全ての保険会社はシステムへの再投資を回避しながら、独自のニーズを満たす次世代のコアシステム持つ事ができるということです。

私たちの歩む先には非常にエキサイティングな未来が広がっており、eBaoTechは、この素晴らしい革命の担い手になることを目指しています。その目標実現のきっかけとなる今回のパートナーシップの機会を与えてくれた同社に感謝します。この歴史的な成功を誇りに思います。”

Woody Mo
eBaoTech、CEO

中国大地保険は分散型クラウドネイティブのマイクロサービスミドルウェアプラットフォームをベースとしたコアプラットフォームの適応を実現した世界初の大手総合損害保険会社です。

中国大地保険は中国内外でさまざまな業界賞を受賞しています。例えば、CelentとAsia Insurance Reviewが共催する2018年度アジア保険テクノロジーアワード（AITA）において、同社は将来を見据えた4G（マイクロサービスおよびクラウドネイティブアーキテクチャ）保険テクノロジーの導入が評価されて「レガシーおよびエコシステムトランスフォーメーション」部門を受賞しました。



図2：アジア保険テクノロジーアワードを受賞

中国大地保険について

中国大地保険は、国有の損害保険会社として中国国務院（State Council）と中国保険監督管理委員会（China Insurance Regulatory Commission）の承認にて設立されました。China Re Group傘下で唯一のダイレクト損害保険会社でもあります。同社は、2003年10月15日に上海で設立され、登記資本金は22億米ドルです。2018年には保険料売上が62億米ドルに達し、中国第5位の損害保険会社となりました。

中国大地保険は設立から16年で飛躍的な成長を遂げています。地方支店を35カ所、営業拠点を1カ所、オペレーティングセンターを1カ所、Eコマース会社を1社、さらに省級、地級、県級レベルで2,000以上の販売拠点を設置し、国内全土にネットワークを展開しています。2014年から2018年まで、同社はA.M. Bestから財務健全度格付（FSR）と発行体格付（ICR）の両方で「A」を獲得し、格付アウトルックも「安定的」と評価されています。詳細については、<http://www.ccic-net.com.cn/>をご覧ください。